【国語】

①　出題のねらい

文章読解に加えて、幅広い知識問題（ことばの係り受け・熟語の成り立ち・ことわざ・文学史など）を出題し、中学の授業での応用的な思考や自分の考えを発信するために必要な、基礎的な読み取りの技術や知識が身についていることを確認する問題を作成します。

②　問題の構成

漢字の読み書き 10 題・文章問題 2 題（文学的文章 1 題・説明的文章（論説文）1 題）

③　アドバイス

比較的長めの文章（目安は 4000～4500 字）を 2 題出題しますので、早く正確に読む訓練を積んでください。解答もテキパキと、取り組みやすいものから取り組むなど、効率よく時間を使う練習を行ってください。漢字は正確に覚えるようにしましょう。知識問題については過去問を参考に「知識問題のまとめ」を使って繰り返し学習しておいてください。記述問題については、解答の要素を組み合わせて決められた字数で解答を作成する練習を十分行ってください。要素が１つでも入っていれば部分点をつけますので、とにかく自分で解答を作成することが大切です。

【算数】

①　出題のねらい

基礎的な計算力に加え、図形・関数・資料の活用などを通じて、論理的思考力や問題解決力を評価します。多様な視点から柔軟に考える力を養い、高校以降の学習や実社会で活かせる数学的素養の定着を図ります。

②　問題の構成

大問１　計算問題

大問２　小問集合

大問３～６　規則性に関する問題、食塩水の濃度に関する問題、速さ時間道のりに関する問題、平面図形、空間図形に関する問題などから出題。

③　アドバイス

途中式は問わない形式なので、最後まで解ききる計算力をつけましょう。ケアレスミス 1 つが合否を分ける可能性もあるので、見直しや検算を含めて練習をしてください。焦りは禁物なので、短い時間で正確に計算ができるように時間を計って問題演習をしましょう。

【社会】

① 出題のねらい

地理・歴史・公民の基本的な知識が身についているかを、確かめることがねらいです。

地図・資料・統計などを読み取り、知識をもとに思考する力を試す出題もあります。

② 問題の構成

地理 20 点・公民 10 点・歴史 20 点の、各分野別で大問 3 題の構成です。

③ アドバイス

基本的な用語を漢字で書けるように学習してください。また、用語を暗記するだけでなく説明できるように学習すると、選択問題にも対応できるようになると思います。

資料・統計の読み取り問題については、その資料・統計の意味するところを考えることが大切です。意味するところを考えることが出来るようになるためにも、基礎知識の定着が大切になってきます。

試験時間に対し問題数が多めなので、時間配分に気を付けながら素早く解く練習をしましょう

【理科】

① 出題のねらい

自然科学・理科全般に関する知識を身につけ、理解しているかを問います。また、実験や観察の結果を記録したグラフや表などのデータを読み取る力や、それらを計算処理・考察する力を試す問題もあります。

② 問題構成

大問４問で構成しています。物理・化学・生物・地学の４分野からまんべんなく出題。問題数・配点ともほぼ均等です。

③ 入試のアドバイス

・読解力を問う問題

長い文章を早く・正確に読み、内容を理解したうえで問題を解きましょう。

・思考力を問う問題

グラフ、図や表から内容を読み取ったうえで、計算問題を解きましょう。

・問題数が多いため、解答するスピートも問われます。

正確な知識・１分１問ペースを意識・解ける問題から取り組む、などの対策が有効です。